

2025年度 ファッションビジネス科 科目読み替え表

ファッションビジネス科1年

	カリキュラム	コマ数	読み替え	コマ数	担当
一般	コミュニケーション活動 I	30	コミュニケーション活動 I	30	金田
	ITリテラシー	15	ITリテラシー	15	保科
専門科	ファッションビジネス論	15	ファッションビジネス論	15	金田
	モード史 I	15	モード史 I	15	金原
	マーケティングリサーチ	15	マーケティングリサーチ	15	片山
	ECビジネス I	15	ECビジネス I	15	野村
	デジタルマーケティング I	15	デジタルマーケティング I	15	寺田
	デザインアプリケーション I	30	デザインアプリケーション I	15	野村
	マーチャンダイジング	15	マーチャンダイジング	30	大方
	VMD	15	VMD	15	繁田
	ファッショントレンド I	15	ファッショントレンド I	15	相川
	アパレル素材論	15	アパレル素材論	15	金原
	商品企画 I	15	商品企画 I	15	大方
	色彩学	30	色彩学	30	小長谷
	パーソナルカラー	15	パーソナルカラー I	15	小長谷
	コミュニケーション技法	15	コミュニケーション技法	15	川松
	セルフプロデュース	15	セルフプロデュース	10	桜井
			パブリックマナー	5	辻本
	接客技術 I	45	接客技術 I	45	澤田
	ファッションコーディネート	15	ファッションコーディネート	15	金田
	ヘアメイク基礎	15	ヘアメイク基礎	15	前田
	ショップマネジメント I	15	ショップマネジメント I	15	松本
ビジネスプランニング I	15	ビジネスプランニング I	15	川松	
特別科目	キャリアプラン I	30	キャリアプラン I	15	嶋田
			サービス接遇検定対策	15	片山
	インターンシップ I	15	インターンシップ I	15	金田
	産学連携プロジェクト I	15	産学連携プロジェクト I	15	金田・瀬田
	ファッションビジネス特別実習 I	15	ファッションビジネス特別実習 I	15	担当
共通選択科目	15	共通選択科目	15	—	
	年間履修時間数	495		495	
	年間授業日数				

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。					
授業の概要					
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い、理解し合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	60%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1～12. オリエンテーション					時間数
					8
13～20. 球技大会など					8
21～37. 校外研修 (東京他)					8
38～51. 外部イベントなど					8
52～60. その他学校イベント					28
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ITリテラシー		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	保科 康浩	
授業の目的・目標						
<p>自分のパソコンの使用環境を設定する。          社会人必須のMicrosoft365 (PowerPoint、Word、Excel) の基本操作を習得する。          スマホと連携して今後の授業活動に活用できるように知識を吸収する。</p>						
授業の概要						
<p>自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはOffice365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。Zoomを使ったリモート環境が利用できるようになる。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携ができるようになる。社会人としてICT活用を考える。</p>						
成績評価の方法						
1. 課題 (提出させた課題の完成度と提出率) 2. 平常点 (主体的な授業参加度) 3. 学習意欲 (授業意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				課題	50%	
				平常点	30%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
使用テキスト：なし 教材：自分のパソコン						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション、スマホへのアプリ設定			2			
2. PCへの各種インストール			2			
3. PCとスマホのデータ操作			2			
4. Webアプリとデスクトップアプリの違い			2			
5. Win11と生成AI(Copilot)について			2			
6. ビジネスメールの基礎			2			
7. Wordでビジネス文書の基礎			2			
8. PowerPointの基礎知識			2			
9. PowerPointでの画像操作			2			
10. PowerPointでコラージュ			2			
11. Excelの基本操作			2			
12. Excelでグラフ作成			2			
13. ExcelとPowerPointとの連携			2			
14. ExcelとPowerPointでプレゼン2			2			
15. 課題			2			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス論		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
単に衣服を生産し販売するというだけではなく、環境問題もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消費者のニーズを察知し、新しい考え方や技術に基づいて商品をつくり、効果的な方法で消費者に提案・購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解する。					
授業の概要					
ファッション業界で勤める上で必要な土台となる流通のしくみが理解でき、将来希望する職種で必要とする専門的な知識・技術を学びそれらを駆使して就職活動や仕事に活かす事ができる。ファッションビジネス能力検定3級取得を目指す。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				課題	20%
3. 検定取得 これらの要件で総合的に評価する。				検定試験	50%
使用テキスト・教材					
ファッションビジネス I ファッションビジネス用語辞典 WWD JAPAN 他資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ファッションビジネスの概要 (定義と特性)					2
2. 繊維ファッション産業の流れ (企画～製造～販売まで)					2
3. ファッション消費と消費者行動 (消費者意識と行動、消費者のファッション表現)					2
4. ライフスタイルとファッション (ライフスタイルとは? TPO シーズンサイクル)					2
5. お客様の購買行動 (お客様・顧客 購買行動 購買心理のプロセス)					2
6. アパレル産業と小売産業					2
7. アパレル産業とは? (アパレルメーカー、デザイナーブランドビジネス インポート)					2
8. アパレルビジネス、ジャパン社、ライセンスビジネス)					2
9. 小売企業とは? (百貨店、量販店、専門店、チェーンストア、無店舗販売)					2
10. 筆記試験 (1～8 振り返り)					2
11. ファッション企業のマーケティング					2
12. ファッションマーチャンダイジング					2
13. ファッション流通 (流通とは? アパレルメーカーと小売企業の取引条件)					2
14. ファッション造形知識					2
15. ファッションビジネス能力検定3級対策 (過去問題)					2
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。				各専門科目全般	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2025年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
モード史			(講義)・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	金原 陽子	
授業の目的・目標						
その時々々の社会環境や生活者の思いが表現される『服』というツール。歴史を紐解きながら、過去を知り、先を予見する。スタイリング提案に活かす。						
授業の概要						
『衣服』が社会構造、人々の志向などが反映していることを意識して、各時代ごとの資料プリントと教科書で、服飾文化の変遷を辿る。						
成績評価の方法						
試験、課題、学習姿勢を総合的に評価する。					期末試験	40%
					課題	40%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
西洋服装史（文化服装学院編） ファッションクロニクル（講談社エディトリアル）						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	シラバスの説明		1	8	1990年代のモード③	1
	プロローグ		1		1990年代のモード④	1
2.	1940～50年代のモード①		1	9	ここまでのまとめ 課題①	1
	1940～50年代のモード②		1		課題②	1
3.	1960年代のモード①		1	10	2000年代のモード①	1
	1960年代のモード②		1		2000年代のモード②	1
4.	1970年代のモード①		1	11	2000年代のモード③	1
	1970年代のモード②		1		2010年代のモード①	1
5.	ここまでのまとめ 課題①		1	12	2010年代のモード②	1
	課題②		1		2010年代のモード③	1
6.	1980年代のモード①		1	13	西洋服装史（検定対策）①	1
	1980年代のモード②		1		西洋服装史②	1
7.	1990年代のモード①		1	14	西洋服装史③	1
	1990年代のモード②		1		西洋服装史④	1
				15	西洋服装史⑤ ここまでのまとめ	2
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
マーケティングリサーチ			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	片山 留美
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケットの基礎を学び、ベーシックスキル(データ収集法)を身に付ける</li> <li>・顧客層の属性・ニーズ・トレンド・競合他社の状況など、商品やマーケットを理解する術を身に付ける</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Show&amp;Tell手法を取り入れ、コミュニケーション力を同時に養う</li> <li>・ 他科目(ファッションブランド研究・商品企画・マーチャンダイジング・バイイング演習 等)への導入科目として、ファッション業界に必要なベーシックスキルを知識xワークの組み合わせで実体験として身に付ける</li> </ul>					
成績評価の方法					
出席率・授業態度・参加意欲・課題を総合的に判断し評価する				平常点	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションビジネス 3級</li> <li>・ファッションパーツ図鑑</li> <li>・やさしくわかるお店の数字</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ファッション業界の概要 - トrendとは (trendの生まれ方/2025AW trend)					2
2. マーケットリサーチとマーケティングリサーチの違い					2
3. リサーチターゲットの選定 (ブランド or ショップ)					2
4. レポート作成 (東京リサーチver.) →発表					4
5. リサーチワーク 定点観測 vol.1 (実店舗) → レポート作成 → 発表					4
6. メディア分析 (Google trend/Yahoo! リアルタイム検索/X・Instagram等のSNS) レポート作成 → 発表					4
7. リサーチワーク 定点観測 vol.2 (実店舗) → レポート作成					4
8. リサーチワーク 定点観測 vol.3 (実店舗) → レポート作成					4
9. まとめ&総評					4
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ECビジネス I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	野村 佳祐
授業の目的・目標					
ECビジネスの基礎、現状を知り アパレル業界で必須の「EC販売」に向けて学ぶ					
授業の概要					
現状のECビジネスの現状を学ぶ。 実習にて、「通販」の詳細を知ってもらう 基礎、知識を活かして実践練習の反復					
成績評価の方法					
①ECビジネスの最低限の理解、表現ができる ②得意不得意はあると思うので、わからないをちゃんと言える、できる人はわからない人を教えられる。 ③人間性の部分(話の聞き方、意見をちゃんと言える、言葉使い)				平常点	25%
				課題	50%
				チームワーク	25%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 生徒さんそれぞれの、好きな通販サイト					2
2. ECビジネス(通販)とは何か?今までとこれからの通販、某ECサイトの現状、詳細					2
3. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての実習①					4
4. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての発表②					2
5. チームでECサイト(仮)に向けての実習①(チームになってワーク)					6
6. チームでECサイト(仮)に向けての発表①					2
7. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての実習②					4
8. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての発表②					2
9. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての実習③					4
10. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての発表③					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
デジタルマーケティング I		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	寺田 貴詞	
授業の目的・目標						
デジタルメディアを理解し、セルフプロモーション力を習得する。						
授業の概要						
マーケティングの基礎を理解する SNSを活用する上での注意点を理解する SNS上でのセルフプロデュースの強化と実演						
成績評価の方法						
課題提出、最終発表、授業態度を総合的に評価する					最終発表	40%
					課題	40%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
必要に応じて資料配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1.	オリエンテーション (学習目標の共有・各種ツールの設定等)					2
2.	マーケティングの基礎編(マーケティングとは/デジタルマーケティングとは)					4
3.						
4.	消費者行動の変化 (社会の変革) とSNSの役割					4
5.						
6.	SNS炎上と企業が受けるダメージと対策、謝罪					2
7.	デジタルタトゥーと個人情報の保護					2
8.	マーケティングの応用編の入り口					4
9.	トリプルメディアマーケティングの考え方					4
10.	セルフプロデュースの必要性・自己分析と他者分析					4
11.	なりたい自分像を明確にし、アウトプット力を身につける					4
12.	ショート動画の特徴(SNSにおけるアルゴリズム)と制作方法					2
13.	セルフプロデュースを目的としたショート動画制作					4
14.						
15.	写真(動画)でアウトプット・発表					2
その他				関連科目		
※適宜、課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザインアプリケーション I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	野村 佳祐
授業の目的・目標					
販促物、SNSを作る上で illustration、Photoshopの基礎中の基礎を理解し使えるようになる。					
授業の概要					
デザインアプリ illustration、Photoshopの基礎を順を追って説明、実習の反復。					
成績評価の方法					
①デザインアプリケーション最低限の理解、表現ができる ②得意不得意はあると思うので、分からない事を伝える、できる人は分からない人を教えることができる。 ③人間性の部分(話の聞き方、意見をしっかりと伝える、言葉使い)				平常点	50%
				学習意欲	50%
				チームワーク	0%
使用テキスト・教材					
パソコン(adobeソフト)					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. デザインアプリイラストレーションの説明、基礎操作①					4
2. デザインアプリイラストレーションの基礎操作②					4
3. デザインアプリイラストレーションの基礎操作①②を活かした実習(個人ワーク)					4
4. デザインアプリフォトショップの説明、基礎操作①					4
5. デザインアプリフォトショップの基礎操作②					4
6. デザインアプリフォトショップの基礎操作①②を活かした実習(個人ワーク)					4
7. デザインアプリ、イラレ & フォトショップを合わせた実習(ポートフォリオの作成)					6
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2025年度			
			科目コード				
授業科目名			授業形態		学科・コース		
マーチャンダイジング			講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	60	1	大方 和則		
授業の目的・目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>●MDの基本である5適を店舗企画の流れに沿って実践的に身につける。</li> <li>●バイイングを通して企業研究をすすめ、就職活動やキャリアプランを持つことができる。</li> <li>●ESG経営を学ぶことで社会貢献意識を持つことができる。</li> <li>●DXの事例を学ぶことでそのスキルとともに「ヒト」の重要性を再認識することができる。</li> </ul>							
授業の概要							
<p>アパレルショップのMD企画、販売、計数管理までの一連の流れをマーケティング流れの中ですすめていく。単に売上や利益を求めるだけでなく、利益をどのように社会に還元していくか、環境にどう向き合うか、そのビジネスをどう継続していくか、というSEGの観点でMD企画をすすめる。</p>							
成績評価の方法							
企画書の提出率・完成度 70%				課題	70%		
平常点 30%(出席・受講態度)				平常点	30%		
使用テキスト・教材							
FB3級 FA3級 販売士2級テキストをベースに進めるが必須ではない。							
授業内容・授業計画							
1.	ファッション業界の現状 MDの業務、役割について					時間数	4
2.	現状分析(マクロ、ミクロ) 価値の創出 仮説 データ検証						4
3.	STP分析						4
4.	立地戦略 スタイリング						4
5.	バイイング①						4
6.	バイイング②						4
7.	バイイング③						4
8.	バイイング④						4
9.	SPA企画①						4
10.	SPA企画②						4
11.	52週MD						4
12.	EC、バーチャルショップ・メタバース・ライブコマースについて						4
13.	3か年予算計画						4
14.	初年度月別予算計画						4
15.	総論						4
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
VMD		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	繁田 和美
<b>授業の目的・目標</b>					
店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。					
<b>授業の概要</b>					
VMDは店のメッセージやブランド価値を伝え、お客様視点に基づく店づくり方法である。店舗設計において、商品の展示陳列まで計画するVMDは欠かせない技術です。VMDの基礎知識を学び、実習を通してヴィジュアルプレゼンテーションのスキルを習得する。					
<b>成績評価の方法</b>					
課題（提出された課題の完成度）。平常点（主体的な授業参加度）学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢） 総合的に評価するが、課題・最終課題を未提出の場合は成績評価が行われない。				課題	40%
				平常点	40%
				学習意欲	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジュアル版VMD新テキスト」（テキスト）・その他資料等配布</li> <li>・実習時はトルソー、マネキン、衣類、演出物等使用</li> </ul>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
					時間数
1. VMDの概要/商品分類、VMD分類、陳列技術					2
2. 陳列技術（IP）の基礎、定数定量					2
3. 陳列技術の応用					2
4. 演出技術(VP・PP)の基礎					2
5. 演出技術の応用 VMDまとめ					2
6. 店舗の見方、リサーチ方法、ゾーニング					2
7. 店舗リサーチ(フィールドワーク)					2
8. ディスプレイプランニング/実習					2
9. 準備&製作/実習					2
10. 準備&製作/実習					2
11. 準備&製作/実習					2
12. インスタレーション/実習					2
13. インスタレーション/実習					2
14. インスタレーション/実習					2
15. 講評&まとめ					2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッショントレンド I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	相川 克彦
授業の目的・目標					
世界のファッションシーン全体の動向を俯瞰して理解し、プロの業界人として知っておくべき基礎知識を修得する					
授業の概要					
国内外のファッションの重要な最新ニュースを映像を活用しながら解説し、ファッションビジネス&デザイン両面からトレンドを理解する					
成績評価の方法					
授業の出席率、および学習意欲を総合的に評価				出席率	30%
				学習意欲	30%
				レポート	40%
使用テキスト・教材					
ファッション週刊紙「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 世界のファッションシーンは今どう動いているのか？時代の流れ、業界を俯瞰する					2
2. 2025-26年秋冬ニューヨーク、ロンドン・コレクションの注目ブランド・トレンド解説					2
3. 2025-26年秋冬ミラノ・コレクションの注目ブランド・トレンド解説					2
4. 2025-26年秋冬パリ・コレクションの注目ブランド・トレンド解説					2
5. パリ・オートクチュールの魅力は？最高峰の服作りの神髄を追う					2
6. 重要キーワード、サステナビリティに対してファッションができることは？					2
7. 決算から読み解く好調ファッション企業の見分け方					2
8. DXはファッションビジネスをどう変えるのか？					2
9. 日本の有力ファッション企業トップが語る2025年の戦略					2
10. 2026年春夏メンズ・コレクションの注目トレンド解説					2
11. 今本当に売れているものは何か？リアルトレンドを探る					2
12. プルミエールビジョンから占う2025年の素材・色のトレンド					2
13. 次世代のファッション業界人に求められる資質とは？					2
14. ファッションビジネス&デザインに影響を与えるヒト・モノ・カルチャー					2
15. 2025年のファッション業界を総括し、新時代を展望する					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2025年度		
			科目コード			
時間数は45分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
アパレル素材論 I		(講義)・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	30	1	金原 陽子	
授業の目的・目標						
素材の知識を得て、説得力のあるセールストークが出来る販売員になる。						
授業の概要						
素材の基礎知識を学び、応用編では、接客コンテストに活かせる、具体的なアイテムを用いて素材感の表現、購入後の管理の仕方などを学ぶ。						
成績評価の方法						
提出物、確認テスト、受講態度など総合的に評価する。				期末試験	40%	
				課題	40%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
アパレル素材論（文化服装学院編） 表生地標本集（文化服装学院編） メジャー						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	シラバスの説明	1	8	編物について①	1	
	品質表示について	1		編物について②	1	
2.	繊維～糸～布地～製品	1	9	カットソー素材①	1	
	メジャー活用 アイテムシート説明	1		カットソー素材②	1	
3.	アイテムシート制作	1	10	アイテムシート②課題	1	
	素材感 サイズなど記入法	1		ここまでのまとめ	1	
4.	天然繊維①	1	11	小テスト 柄について①	1	
	天然繊維②	1		柄について②	1	
5.	化学繊維①	1	12	衣服の管理①	1	
	化学繊維②	1		衣服の管理②	1	
6.	化学繊維③	1	13	衣服の管理	1	
	ここまでのまとめ	1		アイテムシート③課題	1	
7.	小テスト 織物について①	1	14	検定対策	1	
	織物について②	1		検定対策	1	
			15	小テスト まとめ	2	
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2025年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
商品企画 I			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	大方 和則	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●アパレル生産地として国内有数産地の歴史を知る。</li> <li>●OEMの業務を学びメーカーや営業職への就職活動をスムーズに行うことができる。</li> <li>●ビジネスによって「伝統」「理念」「社会性」を訴求することができる。</li> </ul>						
授業の概要						
アパレル生産企業と提携しOEMによって生産、販売を行う。就職後の実務を意識した流れでPB生産を行うことでMDの実践力を養う。販売では静岡のアパレル生産の技法や伝統をいかに伝えるかを意識し、グローバルからローカライズへ、といったファッションビジネスの潮流を理解する。						
成績評価の方法						
企画書の完成度 70% 平常点 30%(課題、出席含む) テストは行わない					課題	70%
					平常点	30%
使用テキスト・教材						
使用しない						
授業内容・授業計画						
						時間数
1.		ファッション業界の現状				2
2.		OEMについて				2
3.		マーケティングリサーチ				2
4.		コンセプト・パーパスの設定				2
5.		商品企画①				2
6.		商品企画②				2
7.		商品企画③				2
8.		商品企画④				2
9.		商品企画⑤				2
10.		商品企画⑥				2
11.		販売戦略 接客分野				2
12.		販売戦略 VMD分野				2
13.		販売戦略 デジタル分野				2
14.		予算管理				2
15.		総論				2
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
色彩学		講義		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	1	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
ファッションビジネスに関連する仕事を遂行する上で必要とされる色彩の基礎や配色、イメージにあったカラーコーディネート習得し、色彩検定3級合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って下記のとおり細目を設け、テーマ毎に確認テストを実施します。配色カードを使った演習を取り入れ、色感を磨きながら、6月に実施される色彩検定3級の対策として過去問題を繰り返し行います。					
成績評価の方法					
色彩検定3級の合否結果、過去問題の点数、学習意欲（欠席・遅刻日数や授業態度等）を総合評価したうえで決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
色彩検定3級テキスト 過去問題 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	色のはたらき				2
2.	光と色				4
3.	色の表示				4
4.	色の三属性				2
5.	PCCS				2
6.	色名				2
7.	色彩心理				4
8.	色彩調和				2
9.	色相配色				2
10.	トーン:配色				2
11.	色彩効果				4
12.	色彩と生活				2
13.	ファッション				4
14.	インテリア				4
15.	過去問題				20
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パーソナルカラー I		講義		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
ファッションビジネス業界におけるカラーコーディネート的重要性・関連性に基づき、パーソナルカラーの知識を身につけ、自分ブランディングからお客様にアドバイスできる力を習得します。パーソナルカラー検定モジュール1(初級レベル)合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って細目を設け、テーマ毎に確認テストを行います。配色カードやドレープ等を使った演習を取り入れ、実践力も身につけます。過去問題を繰り返し解くことで出題傾向をつかみ、苦手な問題も克服します。					
成績評価の方法					
パーソナルカラー検定の可否結果、過去問題の点数、学習意欲(欠席・遅刻日数や授業態度等)を総合評価したうえで決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
色彩技能パーソナルカラー検定® 公式テキストモジュール1 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. パーソナルカラーとは					2
2. 色が見える条件と感情効果					2
3. 色のしくみ					2
4. 基本の配色方法					2
5. 色彩調和論					2
6. フォーシーズン					4
7. パーソナルカラリストの診断					2
8. 自分のパーソナルカラー					2
9. コーディネート術					2
10. カラーテクニク					2
11. 過去問題					8
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション技法		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動を視野に入れ、社会人としての聞き方、話し方、キャッチボールの仕方を意識づける。</li> <li>・ビジネスシーンに求められる対人スキルやプレゼンテーションの手法を学び、就職活動や他授業も含めた発表の場で活用できるようにする。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事現場を想定した言葉遣いや報連相、企業とのやり取りの仕方をシミュレーションしながら学ぶ。</li> <li>・説明会や面接、ディスカッションなど就活イベントごとの対策スキルをトレーニングする。</li> <li>・外部ゲストに向けたプレゼンテーションを通して、ビジネスマナーや表現手法を身に着ける。</li> </ul>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークへの取組姿勢</li> <li>・課題発表（内容と表現）</li> </ul>				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドデータまたはプリント配布</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業オリエン、「コミュニケーション」とは、ウォーミングアップ演習					2
2. 就活対策スキル①ビジネスコミュニケーション、報連相					4
3. 就活対策スキル②企業研究、説明会					4
4. 就活対策スキル③グループ面接					4
5. 就活対策スキル④グループディスカッション					4
6. プレゼンスキル①ビジネスプレゼンの目的と構成、プロモーション報告書作成					4
7. プレゼンスキル②プロモーション報告プレゼンのパワポチェックとリハーサル					4
8. プレゼンスキル③プロモーション報告プレゼン（発表&ゲスト講評）					4
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			ビジネスプランニング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
セルフプロデュース		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	桜井 貴斗
授業の目的・目標					
<p>ブランディング・マーケティングを学ぶことで自分たちのファッション・ブランドのより良い見せ方・伝え方を知ることができる。その結果、消費者・生活者（ブランドを買ってくれる人）に自分の魅力を伝えることができるようになることを目指す。</p>					
授業の概要					
<p>①様々な事例を通してブランディングとは何か？を理解する  ②自分のセルフプロデュース力を磨く</p>					
成績評価の方法					
<p>・課題提出（ブランドに関する課題） 50%□  ・学習意欲（授業に取り組む姿勢） 50%</p>				最終発表	40%
				課題	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
必要に応じて資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション（自己紹介・学習目標の共有など）				1
2.	ブランディングとは				2
3.	ブランディングとは				2
4.	ブランディング・マーケティングの事例				1
5.	身近な事例でブランディング・マーケティングを考えよう（ワークショップ）				2
6.					
7.	市場分析と自分の強みの整理				2
8.	ターゲットペルソナの整理				2
9.	マーケティング手法（情報の届け方）				1
10.	ブランディング・マーケティング視点で自分の強みを考えよう（ワークショップ）				2
11.					
12.	ワークショップのチーム・個別フィードバック				2
13.	これまでの振り返り&桜井セルフブランディング&会社事例				2
14.	※必要に応じてゲスト参加				
15.	自分の強みを考えよう（最終アウトプット）				1
その他			関連科目		
※適宜、課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客技術 I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	澤田 恭子
授業の目的・目標					
接客の基礎知識・技術の習得 コミュニケーション能力と会話力の向上によるバランスの取れた人材育成					
授業の概要					
実践トレーニングによる基礎項目の完全習得 セルフプロデュース力を兼ね揃えたコミュニケーション能力の向上					
成績評価の方法					
1. 課題 (レポートの内容・完成度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢) 3. 実技テスト (ロールプレイング) これらの要件で総合的に評価する				課題	35%
				学習意欲	30%
				実技テスト	35%
使用テキスト・教材					
資料配布 ロールプレイング映像資料					
授業内容・授業計画					
1 授業概要説明、業界の現状・接客業の必要性、コミュニケーションディスカッション					時間数
2～5 接客基礎 I ①言葉遣い (ビジネス用語・接客 8 大用語)					2
②コミュニケーションの重要性、会話力 (雑談)					8
③基本動作 (姿勢・お辞儀)、パーソナルスペース					
④購買心理					
6～10 接客基礎 II ①オールグランドプレイヤー、セルフプロデュース					10
②観察力 ③基本所作 (動的待機・立ち居振る舞い)					
④セールスポイントの提案 ⑤会話力 (雑談)					
11～18 実技練習 ① 基本接客 (動的待機・購買心理別アプローチ・会話)					16
19～26 実技練習 ② 感情接客 I (ニーズ確認・5W1H・聞き取り)					16
27～36 実技練習 ③ 感情接客 II (共感・抑揚、コミュニケーション、雑談)					20
37～42 実技練習 ④ 応用接客 (目的別パターン)					12
43～45 ロールプレイングテスト					6
※学内ロールプレイングコンテスト開催					
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションコーディネート		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
ファッションコーディネートをする上で必要な、アイテム知識、トレンド知識、色・素材・柄・感覚に視点を置いた論理的なコーディネートの基本を学び自身の表現手法の幅を広げる。2年次の対お客様や芸術的なコーディネート提案へとつなげていく。					
授業の概要					
ファッションコーディネートの基礎知識・技術を習得し、シルエット、ディテール、色・柄、素材などが異なる複数の服や服飾雑貨を、バランスよく組み合わせ、統一したイメージをつくりあげる事ができる。					
成績評価の方法					
1. 平常点（主体的授業参加度） 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） 3. 実技試験 これらの要件で総合的に評価する。				平常点	30%
				課題	30%
				実技試験	40%
使用テキスト・教材					
ファッションクロニクル（講談社エディトリアル） WWD JAPAN 他資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 2025S/S トренд解説（4つのキーワード）					2
2. ファッションアイテム知識 アパレル分類の理解					1
3. スタイリングイメージ分類（マップ制作&実技）					1
4. ①クラシック ②フェミニン ③アバンギャルド ④モード ⑤ストリート					1
5. 基本シルエット分類、シルエットの組み方（マップ制作&実技）					1
6. 2025S/Sトレンドスタイリング実践（5つのキーワード）（実技）					1
7. 2025S/S セルフプロデュース企画概要（スタイリング企画書制作）					1
8. ①既存のブランドを選定②イメージに沿ったスタイリング構築（ヘアメイク&洋服）					1
9. 企画プレゼン→ロケハン→撮影					1
10. 2025A/W 7days ワードローブ企画概要（A4ファイルにてポートフォリオ制作）					1
11. ①テーマ ②コンセプト ③衣装 ④ロケーションの設定					1
12. 手持ち衣装を基礎にした構成、着用計画の作成。					1
13～15 最終回にプレゼンを実施。					1
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			接客技術Ⅰ ヘアメイク基礎		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名				授業形態	学科・コース
ヘアメイク基礎				(講義)・(演習)	ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	前田 紗侑里
授業の目的・目標					
ヘアメイクの知識、基礎な技術を学び、ファッションのにあったヘアメイクで自己表現の可能性を広げる					
授業の概要					
ヘアメイクの基本となるアイテムや手順を学びセルフメイクを中心にフルメイクを習得。同時にヘアの道具をSiriヘアの基本となるゴムの縛り方、ピン打ちブレイズなどのアレンジを習得。					
成績評価の方法					
・出席状況    ・授業意欲    ・課題提出				出欠席	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
配布資料・ヘアメイク道具一式、パソコン					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	シラバス説明・ヘアメイクの道具の説明				2
2.	ベースメイク(セルフメイク)をしてみよう				2
3.	ヘアアイロン、コテの実践				2
4.	ピン・束ねる実技				2
5.	ガールズコレクションとファッションウィークのヘアメイクの違い				2
6.	ファッションウィークのヘアメイク				2
7.	自己プロデュースでヘアメイクを考える(ファッションを含め)				2
8.	イメージボード・マインドマップ作成・ヘアメイクイメージ、コラージュ				2
9.	自己プロデュースのヘアメイクを実際に作る(セルフ)				2
10.	スマホを使い撮影				2
11.	自己プロデュースのヘアメイクを実際に作る(セルフ)				2
12.	小物品やパーツ撮る、撮影スポットでどんな動きで撮るか探る				2
13.	撮影(予定)撮影別日であればパウポ作成				2
14.	撮影(予定)撮影別日であればパウポ作成				2
15.	自己プロデュース発表				2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ショップマネジメントI			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	36	2	松本 眞由美
授業の目的・目標					
売り場責任者として、売上・仕入・在庫・利益等の計数管理ができる					
授業の概要					
店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を計算演習により習得する					
成績評価の方法					
期末試験、学習意欲（授業や課題に取り組む姿勢）で評価する				期末試験	90%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,540 出版社：日本実業出版社 ISBN-10：4534050437 ISBN-13：978-4534050434 発売日：2013/2/15					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション(数字の意味)	2	11.	環境変化と売上予測	2
2.	オリエンテーション(売上高把握)	2	12.	損益分岐点	2
3.	オリエンテーション(利益の把握)	2	13.	目標利益達成点	2
4.	損益計算書の仕組みと事例	2	14.	商品の効率	2
5.	比率の計算（売上構成比他）	2	15.	売場の効率	2
6.	仕入在庫と売上原価、製造原価	2	16.	スタッフの働き評価	2
7.	利益の仕組み（値入と粗利）	2	17.	総復習	
8.	値引きと売上利益・粗利ミックス	2	18.	期末試験	
9.	粗利ミックス	2			
10.	売上利益シミュレーション	2			
(学校行事との関係で順序変更の場合があります)					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ビジネスプランニング I			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスに不可欠な要素を理解し、それをベースとした発想力、構成力、表現力を身に付ける。</li> <li>・実際のショップとのやりとりを通して現場感覚を養い、プロモーションの役割や効果を実践的に学ぶ。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画立案する上での基本となる考え方やアプローチの仕方を学ぶ。企画の基本要素とそれを組み立てる方法を理解する。</li> <li>・ショップ応援をテーマに、リサーチやコンセプトワーク、プロモーションの企画、提案、実施から効果確認まで一連のプロセスを、グループワークで実習する。</li> </ul>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時のワークシート提出</li> <li>・グループワーク取組み（リーダーシップ、協力姿勢、積極性等）</li> <li>・プレゼンテーション（企画発表の内容と表現）</li> </ul>				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドデータまたはプリント配布</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業オリエン、「ショップ応援企画」概要、チーム分け					2
2. ショップ選定、現地確認（協力依頼）、ショップ基本情報まとめ					4
3. ショップ応援の仮説づくり、ヒアリングシート作成					4
4. ヒアリング調査実施とまとめ					4
5. プロモーション案作成、ショップへの提案					4
6. 実施プラン選定、プロモーションツール作成					4
7. プロモーションツール作成と実施					4
8. プロモーション実施と効果確認					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			コミュニケーション技法		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン I		講義		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	嶋田 優里
授業の目的・目標					
1. 次年度の就職活動に向けて、自分の特性を客観的に把握しキャリアプランを立てる。 2. 就職活動の流れを理解して、活動の準備をする。 3. ファッション業界の企業の選考方法を把握して、それぞれの選考に備える。					
授業の概要					
1. 自分のキャリアプランに基づいた就職目標を明確にして就職活動をスタートする。 2. ファッション系企業の選考方法への対応力を身につけ、内定確率を向上する。					
成績評価の方法					
1. 平常点（主体的授業参加度）、 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの要件で総合的に評価する。				平常点	60%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
「織研新聞」「日経流通新聞」他（資料配布）					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ファッション系企業の求人票の見方と選考スケジュール					2
2. 一般常識模擬試験					2
3. ファッション系企業の選考試験の種類と内容					2
4. 自己分析 1					2
5. 自己分析 2					2
6. キャリアプランを立てる					2
7. 作文の書き方					2
8. エントリーシート・履歴書の書き方					2
9. エントリーシート・履歴書の書き方					2
10. 就職サイトの活用					2
11. 応募書類の送り方と手紙の書き方					2
12. 面接の種類と対応 1					2
13. 面接の種類と対応 2					2
14. 就職活動の身だしなみ					2
15. ガイダンスの参加のポイントと全体の総括					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
サービス接客検定対策		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	片山 留美
授業の目的・目標					
接客という仕事の基本を理解し、サービスと接客の基本とコミュニケーション技術を身に付ける。サービス接客検定3級取得を目標とする。					
授業の概要					
相手に満足を提供する「サービス」と、その行動の「接客」について学ぶ。ビジネスの場で問われる「人に快適なサービスと接客で満足してもらう為の具体的な考え方、行動の仕方、話し方」を身に付ける。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	40%
3. 検定結果				検定結果	30%
使用テキスト・教材					
サービス接客検定 3級 公式テキスト (早稲田教育出版)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	オリエンテーション		2		
2.	サービススタッフの資質 必要とされる要件・従業要件		2		
3.	〃		2		
4.	専門知識 サービス知識・従業知識		2		
5.	〃		2		
6.	一般知識 社会常識		2		
7.	〃		2		
8.	対人技能 人間関係・接客知識		2		
9.	〃 話し方・服装		2		
10.	実務技能 問題処理・環境整備・金品管理・社交業務		2		
11.	検定対策・過去問題		2		
12.	〃		2		
13.	〃		2		
14.	〃		2		
15.	〃		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※ロールプレイングで知識を実践技術として身につける。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクト I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉 瀬田 新介
授業の目的・目標					
外部企業、社会との連携を図り実体験を重ねていくことを目的とする。					
授業の概要					
授業内で習得した知識や技術を、学校外部での実体験を通じ、自身の視野や価値観を拡大し自信につなげ就職活動に活用していく。					
成績評価の方法					
課題（企画書）				課題	40%
平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%
学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢）				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
産官学連携、SDGSやサステナブルを踏まえた企画アイテムの寄付などを通じ社会貢献のありかたを学ぶ。					時間数  30
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス特別実習 I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	松本 真由美 うちだ しんのすけ 金田 真哉
授業の目的・目標					
①計数管理能力を高める集中講義 ②作品撮影 ③外部イベントへの取り組みを通じ業界関連職種の理解度を高めることを目的とする。					
授業の概要					
①計数管理特別講座 全3コマ ②作品撮影 全4コマ ③外部イベント 8コマ					
成績評価の方法					
出席、授業態度、意欲など総合して判断する。				平常点	30%
				学習意欲	30%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
平常点（主体的な授業参加度） 学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢） 課題（作品）					
授業内容・授業計画					
1. 計数管理特別講座					時間数 6
2. 作品撮影					8
3. 外部イベント					16
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ショップマネジメント		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ファッションコーディネート ヘアメイク基礎		